



肉眼でもその姿をはっきりと見ることができる。こんなに美しい鳥であったのかと改めて感心したこともあった。駐車場を過ぎて少し下ると、左手に数軒の民家が見える。ここで舗装道路から離れ、向かって一番右側の民家の横を通って林に入る。しばらく歩くと、目の前がひらけ、かなり大きな原っぱに出る。何時も、ここでビールを飲みながらゆっくりと休憩する。探鳥という観点から言えば、じっくりと定点観察を行う。鳥が移動する通り道になっているらしく、モズ、ツグミ、ヒヨドリ、アカゲラなどが時々通り過ぎる。ここでルリビタキとクロジを見たことがある。更に進むと三角山の石切り場跡の空き地があるが、立入り禁止になっているので、そのまま、真っ直ぐ進む。この辺りメジロが多い。山の手から登ってくる道と交差する所にあずま屋があり、ここから引き返す。これまでをコース B としておく。

このあずま屋まで来るのに、別のコースを通ることがある。大倉山ジャンプ場の右側を通る遊歩道があり、それを上って展望台に出ると、その上で遊歩道が左右に別れる。右に行くと三角山に行く。このコースも時々使う（コース B'）。道に左に行くと小別沢に出る。いずれも尾根道なので見晴らしの良い場所が所々にあり、オオタカ、ハイタカ、ノスリなどのタカ類が飛ぶと、気持ち良く観察ができる。もう一つよく行く場所をあげると、円山川上流の沢である（コース C）。動物園横の車道を登っていくと（実際に通るのは反対側の円山川沿いの道である）、円山西町に出る。西町神社の所で右に曲がると幌見峠へ出るが、真っ直ぐ進む。少し行くと、左に曲がる細い坂道があり、ここを下って円山川を越えると寺があり、その右側は変電所である。そこを通り過ぎて、真っ直ぐ進むと砂防ダムがある。ダムの両側が歩けるようになっているので、ダムを越えて沢沿いに、三つ目のダムまで歩く。この辺りではキビタキが常に観察でき、エゾハルゼミが鳴くころになっても、キビタキの声が聞こえる。コルリの声も聞くこともある。ここで二度、クマゲラに出会っている。帰りは寺の所を曲がらずに、真っ直ぐ行く。すると右手に大きな空き地がある。以前、ここにはカシラダカが降り、アオバトの声も聞かれたが、今はその面影は残っていない。一番上まで行くと、旭山公園に出る道と藻岩山に続く遊歩道がある。時には、旭山公園を通過して帰路につくこともある。